

鍛練の汗

新年明けまして
おめでとうござい

第10号
R8.1.8
文責
窪田 智久

「熊本の学び」

氷川町

「二十歳の集い」

熊本県千一△3位

ふれ愛スタディ「大空町」

生徒のみなさんともに新年を迎える年は、元年と申します。さて、「1年をとてもうれしく思ひます。さて、「1年をとてたでしようか。」と申しますが、新年に勉強や部活動、進路、手友だちとのこと、家の手伝い、あるいは新たに立てる事への挑戦等々、一人新鮮な気持ちで、一歩前に進む事へ向けて、心を込めて送り出すこと」、「1年生の更なる飛躍」を考えたことでしょう。



元日の7時半頃、ランニング途中で揉んだ初日の出

3学期は、学年締めくくりとともに次年度の準備の時期になります。3年生は進路実現に向け全く力を尽くし、そして過ぎる中で過ごす残りわずかかな月日を大切に過ごしてくださいます。3年生も日々授業を大切にしつつ何よりも積極的に挑戦し、そして何事にも取り組んでいきましょう。



本校で令和6年・7年度の2年間取り組んできた「熊本の学び」プロジェクト校研究発表会を開催します。氷川町や八代市の先生以外にも県下各地のたくさんの先生方が龍中の生徒と一緒に勉強し合います。本校は新年早々からそのような機会を進めています。そこで、準備を進めたいと思いますから、そこへ向けて、令和8年の実現へ向けるところです。

1月3日(土)に氷川町「二十歳の集い」に出席しました。本校は1人で関わりのある先生3年部だつたそうです。式典では何人もの方が高校と新型コロナウイグル感染症の影響を一番受けた年代で、休校が長引き再開したものの学校行事や部活動の中止、給食は等の外出の中止、外食、外出の自粛等々がございました。当時の状況だったことを色々と思い出しました。

しかし、そのような時代を乗り越えて来た先輩の方の式典は、自分達で進め、落ち着いていて希望に満ちた素晴らしいものでした。



学校教育目標
「夢」の実現へ向け、主体的に学び続ける竜中生
～生徒・地域と共に創っていく学校～

保護者の皆様、地域の皆様、

新年明けましておめでとうございます。

令和8年も職員一丸となつて、生徒が安心して学
び、生徒が輝く学校を目指してまいります。

昨年同様に様々な場面で、ご支援・ご協力をい
ただくことと思想いますが、本年もよろしくお願いい
たします。



昭和55年度卒業生
の皆様から寄付をいた
だきました。備品等を
購入して大切に使わせ
ていただきます。あり
がとうございました。

ふれ愛スタディ「大空町」

氷川町は北海道の大空町と友好町村として、中学生同士が、異なる土地で体験学習を行い、視野を広げ交流を深めています。2年生の宮村真成さん、三川珠朋さん、永田大祐さんの3人が参加しました。今回は、氷川町誕生20周年を記念して、初めて冬に北海道へ行きました。1月25日から28日は、寒波となり雪の北海道（銀世界）での貴重な生活を体験したようです。